

2022年9月1日

厚生労働大臣
加藤勝信様

長崎県保険医協会
会長 本田 孝也

無駄なレセプト「摘要」欄記載の中止を求める要請書

拝啓 国民医療の充実・向上に向けた日夜のご努力に対し、深く敬意を表します。

2018年診療報酬改定以降、レセプト「摘要」欄の記載要領にレセプト電算処理システム用コードが毎回追加され、その数は膨大になっています。2022年診療報酬改定では、別表Ⅰ「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧」のほか、別表Ⅱ「薬価基準」、別表Ⅲ「検査値」が新設され、記載すべき事項が複雑化されています。

一方、新型コロナの感染拡大によって、医療現場では診療及び膨大な事務処理に追われている最中であり、無理なく対応できる状況ではありません。加えて改定内容の周知徹底は不十分で、当協会にも多くの医療機関から質問が寄せられるなど、混乱の度を極めています。

当協会で、請求事務者を対象に実施したアンケートでは、半数が記載事項を「理解できていない」「理解できない項目がある」と回答し、さらに、約7割は「事務量は増える」と回答しています。まさに、医療のICT化と言われながら実情はそれに逆行するものであり、意見欄にもあるように、医療現場から「審査支払機関にとっては審査の簡素化になるが医療機関はその逆」「内容が複雑で選択に悩んだり、テキスト入力に時間がかかる」等の多くの不満が寄せられています。

新型コロナウイルスの抗原定性・定量検査、PCR検査においては、全例において「検査が必要と判断した医学的根拠」を記載しなければなりません。これらはレセプトの審査には全く不必要な、無駄な項目であり、医学及び保険診療を無視した取り扱いです。このような取り扱いは他の項目でも多数認められます。

レセプトに記載不備があれば受付・事務点検ASPでエラーとなり、そのまま提出すれば原則「返戻」となることから医療機関にとっては極めて深刻な事態です。事実、アンケートでは半数近くが記載不備等を理由に「ASPでエラーを指摘された経験がある」「審査機関から返戻された経験がある」と回答しています。

つきましては、医療者の負担軽減及び新型コロナにより疲弊した医療機関を支援するためにも、下記事項の実現を要請いたします。

記

一、現場に過重な負担を課す、無駄なレセプト「摘要」欄記載は即刻中止してください。

以上

2022年9月1日

厚生労働省保険局医療課

課長 眞鍋 馨様

長崎県保険医協会

会長 本田 孝也

無駄なレセプト「摘要」欄記載の中止を求める要請書

拝啓 国民医療の充実・向上に向けた日夜のご努力に対し、深く敬意を表します。

2018年診療報酬改定以降、レセプト「摘要」欄の記載要領にレセプト電算処理システム用コードが毎回追加され、その数は膨大になっています。2022年診療報酬改定では、別表Ⅰ「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧」のほか、別表Ⅱ「薬価基準」、別表Ⅲ「検査値」が新設され、記載すべき事項が複雑化されています。

一方、新型コロナの感染拡大によって、医療現場では診療及び膨大な事務処理に追われている最中であり、無理なく対応できる状況ではありません。加えて改定内容の周知徹底は不十分で、当協会にも多くの医療機関から質問が寄せられるなど、混乱の度を極めています。

当協会で、請求事務者を対象に実施したアンケートでは、半数が記載事項を「理解できていない」「理解できない項目がある」と回答し、さらに、約7割は「事務量は増える」と回答しています。まさに、医療のICT化と言われながら実情はそれに逆行するものであり、意見欄にもあるように、医療現場から「審査支払機関にとっては審査の簡素化になるが医療機関はその逆」「内容が複雑で選択に悩んだり、テキスト入力に時間がかかる」等の多くの不満が寄せられています。

新型コロナウイルスの抗原定性・定量検査、PCR検査においては、全例において「検査が必要と判断した医学的根拠」を記載しなければなりません。これらはレセプトの審査には全く不必要な、無駄な項目であり、医学及び保険診療を無視した取り扱いです。このような取り扱いは他の項目でも多数認められます。

レセプトに記載不備があれば受付・事務点検ASPでエラーとなり、そのまま提出すれば原則「返戻」となることから医療機関にとっては極めて深刻な事態です。事実、アンケートでは半数近くが記載不備等を理由に「ASPでエラーを指摘された経験がある」「審査機関から返戻された経験がある」と回答しています。

つきましては、医療者の負担軽減及び新型コロナにより疲弊した医療機関を支援するためにも、下記事項の実現を要請いたします。

記

一、現場に過重な負担を課す、無駄なレセプト「摘要」欄記載は即刻中止してください。

以上